

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	2	選択
担当教員			
工藤 幸一			
B（経営学科）	S（専門科目）	CS（地域）	201（中級科目）

授業のねらい（概要）	地域企業の歴史の変遷や発展過程を捉え、それに基づいて現代的な地域企業問題にアプローチすることのできる知識を修得し、問題を検討する能力を育成することを目的とする。地域と企業の関わりや特質及び地域企業概念と地域企業が果たす機能ややくわり、地域企業の歴史的・文化的背景について解説したうえで、地域企業の組織と戦略や産業集積の創業・経営革新を促進する機能について考察するとともに、地域企業が抱える課題や地域の経済産業事情から地域企業の発展について考える。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】講義内容、履修上の注意事項に関するガイダンス 予習（時間）：シラバスを読み講義内容を理解しておく。（120） 復習（時間）：自分の時間割編成を考え履修するかを決める。（120）</p> <p>第2回 【遠隔】地域社会の概念 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第3回 【遠隔】地域と組織関係（ネットワーク） 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第4回 【遠隔】地域企業概念 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第5回 地域社会と産業集積 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第6回 地域社会と中小企業 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第7回 【課題】地域中核企業 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第8回 地域社会の経営戦略 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第9回 ファミリービジネスの企業家活動 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第10回 【課題】地域企業のビジネスモデル＝未来牽引企業 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第11回 地域企業とイノベーション 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第12回 グローバル環境における地域企業 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第13回 【課題】日本における地場産業の事例研究 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第14回 「第三のイタリア」の事例研究 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：配布資料及びノートの見直し（120）</p> <p>第15回 まとめ 予習（時間）：課題を文献やネットなどで検索・調査する（120） 復習（時間）：これまでの配布資料及びノートの見直し試験に備える（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>DP（経営学科）の1項目を意識した科目となっている。</p> <p>1. 経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多面的に理解し、活用できる能力</p> <p>【身に付くスキル】 情報活用能力・地域力</p>
到達目標	地域における企業の社会的・経済的役割を理解する。個別の企業活動だけでなく地域における範囲の経済の実現が重要であり産官学連携、企業間ネットワークの構築による地域資源の積極的活用の必要性を理解する。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	必要に応じて予習の課題についてレポート提出を求める。また、必要に応じて講義終了前に講義内容のミニレポートを書き提出してもらい理解度を確認する。これらの提出物に関しては授業の中で適宜取り上げる。

履修上の注意	講義の進め方、単位認定試験に関してはガイダンスにおいて説明するが、毎回の講義への出席が絶対条件となる。地域企業論は学問の体系が確立されているとは言えないので、受講者は必要に応じて予習で課題を文献やネットなどで検索・調査が必要となる。テキストは指定しないので板書とケース・スタディーを中心とした解説をおこなうので、講義ノートを作成し、これを持ち込み試験に対応してほしい。授業アンケートによると講義ノートの作成を負担に感じる学生がいるようであるが、これに関しては個人差があるので履修の際は注意してほしい。選択科目であるから意欲ある学生が受講するものとして講義を進める。私語は厳禁であり退室させることもあるので注意すること。講義中の携帯電話の使用は厳禁である。電源を切って入室すること。遅刻入室は20分以内とする。
成績評価の方法・基準	①必要に応じて予習の課題についてレポート、講義内容のミニレポート（20%）②期末試験は試験実施時間90分の論述形式の筆記試験（80%）を行う予定であるが、受講者の人数によってはレポート提出（80%）による成績評価も考えている。
教科書	
参考書・教材	【参考書】日本の中小企業一少子高齢化時代の起業・経営・承継 中公新書2468 著者名：関 満博 出版社：中央公論新社 発行年：2017年 価格：800円
備考	講義科目／地域関連科目 2020年度は、7、10、13回を課題研究として学修する。 第7回 課題研究についての具体的内容やレポート提出の指示は授業時に行う。全体で330分の学習を想定している。 第10回 第7回同様の実施とする。全体で330分の学習を想定している。全体で330分の学習を想定している。 第13回 第7回同様の実施とする。全体で330分の学習を想定している。全体で330分の学習を想定している。 ※「定期試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえてレポートで代替えすることがある。
教員との連絡方法	大学ドメインのメール、Mellyの併用。